

## 令和6年度 第1回大津市環境人育成推進懇話会 議事録

1	日時	令和6年6月20日（木） 18:30～20:00	
2	場所	大津市役所 新館7階 特別会議室	
3	出席者	構成員 7名 びわこ成蹊スポーツ大学 オーパルオペテックス株式会社 滋賀県シェアリングネイチャー協会 カワセミ自然の会 大津子ども環境探偵団エコリーダー 滋賀県小学校教育研究会 環境教育部会 幼稚園環境部会	※敬称略 中野 友博 山脇 秀錬 辻田 良雄 橋詰 幸喜 中谷 祐士 石戸 勇雄 山本 美徳
4	欠席者	構成員 1名 NPO法人おおつ環境フォーラム	※敬称略 長崎 雄二

### 1 開会

### 2 環境政策課課長挨拶

- ・前年度は懇話会でいただいたご意見を踏まえながら指導者研修会を実施した。
- ・今年度も事業をより効果的に実施するために、皆様からご意見をお伺いしたい。

### 3 座長挨拶

- ・民間、行政、教育機関で大津市の環境のために何ができるかを考えてきた会である。新たな構成員を迎え頑張っていきたい。
- ・大津市で実施している家族、指導者、子ども向けのプログラムについてぜひ様々な意見を出していただきたい。

### 4 議題

#### (1) 構成員紹介

- ・「構成員名簿」のとおり事務局より説明

#### (2) 環境学習関連事業の報告について

- ・資料「本市の環境学習関連事業について」、「令和6年度環境学習関連事業について」のとおり事務局より説明

## 【構成員からのご意見・ご質問】

### 指導者研修会

- ・昨年度の活動は全体的によかった。
  - ・最終目標は指導者が実施することであるが、指導者研修会後に幼稚園で実施されたか。
- その後の実施について報告されていないが、実践編で作ったものは活用されている。(事務局)
- ・1つの幼稚園から環境教育を広めていただきたい。
  - ・日常的な自然との触れ合いがどのように環境教育につながるのか指導者に知ってもらいたい。
  - ・継続的に行ってもらいたい。
  - ・来年度は保育園、幼稚園、小学校、中学校に周知し、公開研修にしていきたい。今年度、実践編だけでも公開研修にしていきたい。

### 身近な環境（生きもの）市民調査

- ・市民調査のフィードバックのどのように行っているのか。
- 結果をまとめたポスターと冊子を作成し配布しているが、それを使った取り組みはない。(事務局)
- 市民の方一人ひとりが調査したものなので学術的な報告はできない。(事務局)
- ・市民の環境に対する意識は高まっているが、大津市のフィードバックが弱い。ポスターと冊子を配布しても活用の仕方が分からない方が多いと思われる。
- 報告会の開催、有識者の意見を踏まえたフィードバックができるように検討する。(事務局)
- 市民調査を始めた当初は職員で調査をしていた。当時は幼稚園などのクラス単位で参加あったので、来年度は各園に案内を出すことも考える。(事務局)
- ・報告会を実施するのであれば、子ども達はきっと報告したがるだろうと思う。
  - ・大津こども環境探偵団の里山探偵に組み込むのもよいと思う。
  - ・試験的に環境部会で市民調査結果を活かした授業をやるのもよいと思う。
  - ・事前学習が良かったが、今年度はどのように行っているのか。
- コロナ禍の2、3年は YouTube での開催。今年度は湖北野鳥センターの方に来ていただいた。(事務局)
- ・参加者向けに事前学習についてのアンケート実施をすると、具体的に良い点が分かるだろう。

### ヨシ刈り

- ・市民調査もだが、ヨシ刈りについてもフィードバックが弱い。
  - ・湖岸のヨシの株が増えて弱っているように思う
- 私見ではあるが、昨年ヨシは茎が太く、背が高かった。琵琶湖の中は知見がない。(事務局)

### (3) 環境学習関連事業の報告について

- ・資料「これからの環境人育成事業について」のとおり事務局より説明

#### 【構成員からのご意見・ご質問】

##### 大津こども環境探偵団

- ・参加者の低学年化が集団行動をとれない子どもの増加につながっている。
  - ・エコリーダー間の関わりの希薄化、意識の低下も加わりで統制がとりにくくなっている。
  - ・職員ともテキストベースのやり取りが中心になり、以前に比べてコミュニケーションがとれていない。
  - ・エコリーダーの人数、実質の稼働人数は何人か
- エコリーダーは17名いるが、中心になって活動しているのは10名弱。
- ・コロナ禍や時代の流れによってボランティア自体が減少している。
  - ・大津こども環境探偵団の企画が受動的である。エコリーダーを育成する事業なのか、環境について学ぶプログラムなのかははっきりしていない。
  - ・エコリーダーを育てる研修プログラムがない。団員がエコリーダーになる繋がりが見えると変わるのではないか。
  - ・課題を解決するには「人数を減らす」、「エコリーダー研修講座の開催」、「葛川少年自然の家との連携」が考えられる。
  - ・生涯学習課は大津人、環境政策課は環境人の育成のため同じような事業をしている。事業について整理をしてみてはどうか。
  - ・外来魚、里山の管轄はどこか
- はっきりと境界線があるものではないが、環境という大きな視点で捉え探偵団事業で行っている。(事務局)
- ・エコリーダー募集要項を明確にしてみてはどうか。

### (4) その他

- ・特になし

## 5 閉会

- ・お忙しい中、本懇話会にご出席賜りありがとうございました。
- ・本日いただいた貴重なご意見は本市の事業に活かしていきたいと思っております。